



埋文だより

第16号

平成10年3月31日発行

鏡に秘められた歴史の謎



東免遺跡

《所在地：始良郡隼人町西光寺》

出土した内行花文鏡 (実物大)

東免遺跡は鹿児島空港に隣接する標高約260mのシラス台地上にある遺跡で、鹿児島臨空団地建設に伴い、平成8年度から2年間、発掘調査が行われました。

写真の鏡は、内行花文鏡と呼ばれているもので、約2,000年前(弥生時代)に北部九州で作られた可能性の高い鏡ですが、約1,000年前(平安時代)の土坑内から出土しました。中央の鈕のほかに鏡面本体にも孔をあけ、紐も残っていました。

弥生時代に作られた鏡がなぜ約1,000年後の平安時代の土坑から発見されたのか。鏡のたどった運命が注目されます。

目次

頁

・発掘遺跡紹介(14)	
・東免遺跡	1
・市ノ原遺跡(第5地畠)	2
・藤平小田遺跡	3
・前畑遺跡	4
・丸岡遺跡	4
・「埋文友の会」の1年を振り返って	5
・平成9年度におこなった主な発掘調査	6

鹿児島県立埋蔵文化財センターの見学は、

日曜日・祝日・年末年始を除き、毎日午前9時～午後5時まで、

入館料は無料です。お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。

発掘調査紹介(14)

特殊な土製品・石製品出土

市ノ原遺跡(第5地点) 《所在地:日置郡東市来町湯田》

市ノ原遺跡(第5地点)は、東市来町湯田の標高約50m、シラス台地縁辺の北東方向に開いた段丘上に位置する遺跡で、南九州西回り自動車道建設に伴い平成9年4月から調査が進められています。本遺跡では、旧石器時代、縄文時代、古墳時代など各時期の資料が多く出土しています。アカホヤ火山灰層上部の腐植土層(III a層)からは縄文時代前期～晩期、古墳時代、古代の土器や石器などが出土していますが、その中に、今回紹介する特殊な土製品があります。

この土製品は別々の場所から見つかった3片の破片がつながったもので、半分近くが失われていますが、残った部分から推測して長さ8.1cm・幅5.0cm・高さ4.9cmの三角形の柱を横に置いた形に復元することができます。色は赤褐色でヘラ状の工具によるナデやミガキが施された丁寧な作りです。

これとよく似た土製品として知られているものに、三角擣形土製品があります。沈線や刺突の紋様や、両側の側面から孔をあけたものがやや多く見られますが、文様などの見られないものもあり、市ノ原遺跡出土の土製品と共通します。具体的な用途は不明ですが、実用性のある道具ではなく、宗教や信仰、呪術などにかかわる道具ではなかろうかと考えられています。この三角擣形土製品はこれまで東北から北陸まで80例近く見つっていますが、福井県の出土例が最も西寄りの例で、近畿以西での出土例は知られていません。時代は同時に出土した土器との関係から縄文時代の中期後葉から後期の初頭(約4,000年前)と考えられています。

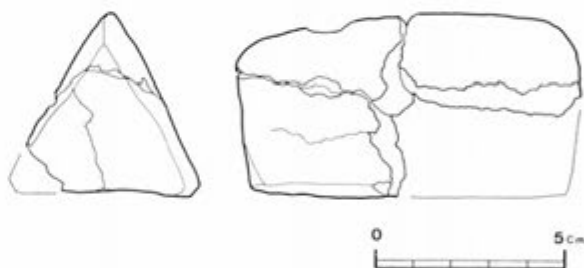
今のところ、東日本の三角擣形土製品と市ノ原遺跡出土の土製品を直接結びつける十分な証拠はありませんが、両者の形状は似ています。

このことから、東日本と南九州というかけ離れた地域の中に精神文化の交流が生まれるほどの時間的・文化的なつながりがあった可能性も考えられます。

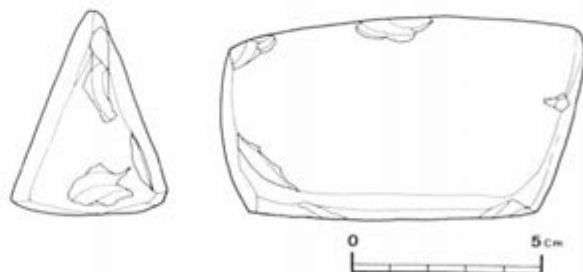
また、三角擣形土製品の作られた同じ時期に富山県・岐阜県から東北地方にかけて大きさや形がよく似た石製品がみられ、三角擣形石製品と呼ばれています。市ノ原遺跡では5地点で1例、4地点で2例、これによく似た石製品が出土しています。土製品との関係を含め、今後検討すべき資料といえます。

—参考文献— 小島俊彰「三角擣形土製品」

『縄文時代の研究』9 縄文人の精神文化 雄山閣ほか



三角擣形土製品実測図



三角擣形石製品実測図



謎の配石遺構見つかる！

藤平小田遺跡 《所在地：熊毛郡南種子町島間》

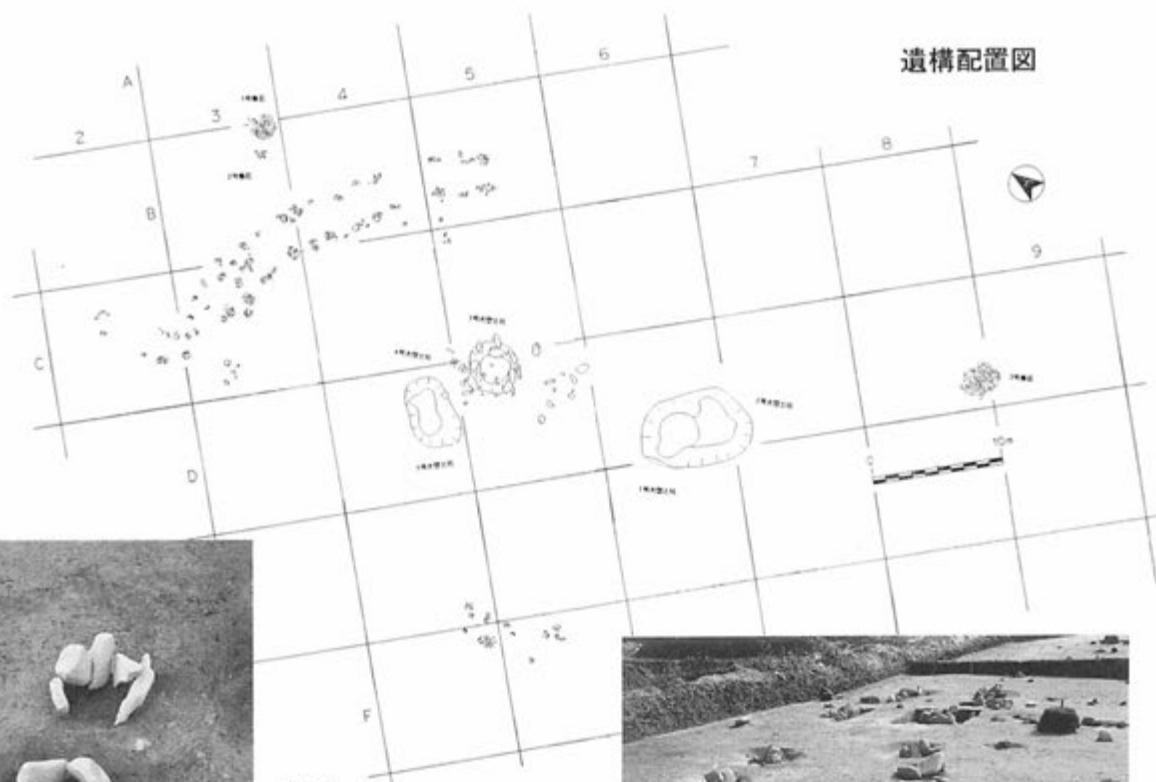
この遺跡は、今からおよそ 3,500年前（縄文時代後期）のものであることが、遺跡内で発見された土器の形や文様などから考えられます。この遺跡の特徴の一つに、木ノ実などの殻を割ったり磨り潰して粉にするための生活用具である磨石・石皿と呼ばれる石器がたくさん発見されたことがあげられます。ところが、このような道具が地面に「ハ」の字に生まれ、しかも立った状態で置かれていたのです。このように、石を意図的に配置するものを配石遺構と呼びます。しかも尾根状の部分に弧を描くようにして2列並んで66基も見つかったのです。石の大きさはこぶし大のものから、人の頭ぐらいのものが入っていましたが、中には大人2人掛かりでようやく持ち上げられるぐらいの大きな石が入っているのもありました。

さらに、直径が4mぐらいで、深さが90cmに掘られた大型の土坑と呼ばれる穴も見つかりました。この穴からは、祭りのときに使っていたと考えられる台付皿という土器が出土しています。そしてこの穴の底は茶碗の内側のように丸く、穴の中心部分からは柱の跡も見つかっています。どうやら建物が建っていたようですが、その中で生活していたとすると、ちょっと不便そうです。では、いったいどんな建物が建っていたのでしょうか。

遺跡には、古代人からのメッセージがたくさん詰まっています。はたして、この遺跡にはいったいどんなメッセージが隠されているのでしょうか。

謎解きは、今始まったばかりです。

(写真提供：南種子町教育委員会)



(左)
B - 4区 配石遺構
(右)
C - 3区 配石遺構



北陸から運ばれた土器?!

前畑遺跡 《所在地：川内市城上町中間》

紹介する前畑遺跡は、川内市城上町にあります。

この遺跡は、九州新幹線鹿児島ルート建設に伴って発掘調査が行われました。遺跡は丘陵に立地し、主に縄文時代早期前半の遺物が発見されています。また、集石遺構や陥し穴状遺構も発見されていることから縄文時代早期を中心とした遺跡と考えられます。

ところが突然、鹿児島県や九州各地でこれまで全く見たことのなかった謎の土器が発見されました。この土器は九州各地で発見されるいずれの土器とも異なった文様構成を持っており、少なくとも九州で作られたものではないようです。

奈良大学の泉拓良先生によると、北陸地方を中心に分布する縄文時代中期前半（4千数百年前）の新崎式土器に最も近いということです。

ではなぜ遠く離れた北陸の土器が発見されたのでしょうか。謎は深まるばかりですが、当時の縄文人の意欲的な情報収集をかいま見るようです。



縄文時代に思いを馳せて・・・

丸岡遺跡 《所在地：曾於郡有明町伊崎田》

丸岡遺跡は、周囲を山に囲まれた標高約130mの盆地にあります。農道整備工事に伴い、平成7年度の確認調査の結果に基づいて、本年度5週間かけて全面調査が実施されました。

今回の調査では、縄文時代早期から古墳時代までの土器や石器、縄文時代早期の竪穴住居跡と集石が各1基発見されました。

竪穴住居跡と集石は、遺跡の中央部の標高が一番高いところから見つかり、両者は約3m程離れていました。竪穴住居跡は、サツマ火山灰（約11,500年前）を掘り込んで造られており、大きさは260cm×180cmの長方形で、検出面から床面までの深さは約20cmありました。写真には住居跡の内外にいくつかの柱穴が見えていますが、住居跡の埋土と柱穴の埋土の色が違うことから、住居跡と柱穴は直接の関係はないと思われる。

埋土の中には、縄文時代早期前葉（約9,500年前）に位置づけられる前平式土器の破片がはいっていました。

丸岡遺跡は縄文時代早期前葉の人々の生活の様相を知る上で貴重な遺跡といえます。



縄文時代早期の竪穴住居跡
(写真提供：有明町教育委員会)

「埋文友の会」の1年を振り返って

本年度の「埋文友の会」は、講演や遺跡見学会・体験学習など計6回実施しました。以下に活動の記録を紹介します。

①第16回 4月22日(土) 参加者83名

- ・ 講座28 「発掘が語る道の歴史」
.....鹿児島県立埋文文化財センター 池畑 耕一
- ・ 講座29 「鹿児島湾奥における海岸線の変遷」
.....鹿児島大学法文学部 森脇 広

池畑氏は、これまで鹿児島県内で発見された旧石器時代から近世までの道跡について、森脇氏は鹿児島湾奥の海岸線がどのように変遷していったかを語られました。

②第17回 7月5日(土) 参加者69名

- ・ 講座30 「南九州の縄文章創期・早期の文化」
.....鹿児島県考古学会 河口 貞徳

講座30回目の記念講演は、鹿児島の考古学の基礎を築かれた河口氏にお願いしました。氏は全国的に注目されている南九州の縄文時代草創期・早期の文化について熱っぽく語られました。



記念講演の様子

③第18回 8月9日(土) 参加者49名

- ・ 講座31 「古代探訪！新発見考古展&上野原」
... 《黎明館・東免遺跡・上野原遺跡》

黎明館で開催された「発掘された日本列島'97鹿児島展」の観賞と、国分市上野原遺跡と始良郡隼人町東免遺跡の見学会を行いました。

④第19回 10月25日(土) 参加者36名

- ・ 講座32 「体験！縄文秋の味覚」
..... 《上野原遺跡》

上野原遺跡で発見され話題になっている連穴土坑や集石遺構を利用した、鶏の燻製作りやサツマイモの石蒸し料理の体験学習を行いました。

⑤第20回 12月13日(土) 参加者53名

- ・ 講座33 「挑戦！縄目文様の復元」
.....鹿児島県立埋文文化財センター 八木澤 一郎
- ・ 講座34 「遺跡見学 始良町宮田ヶ岡瓦窯跡」
.....始良郡始良町教育委員会 下鶴 弘

八木澤氏は縄文土器の名称になっている縄目文様の作り方を紹介し、下鶴氏には古代の瓦を製造した宮田ヶ岡瓦窯跡の発掘調査成果を現地で説明していただきました。



宮田ヶ岡瓦窯跡見学風景

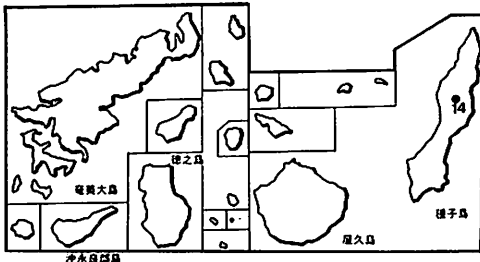
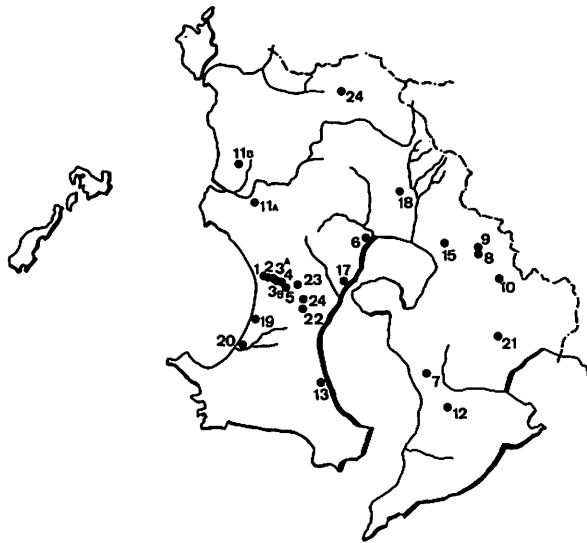
⑥第21回 2月28日(土) 参加者61名

- ・ 講座35 「志風頭遺跡発掘調査速報 縄文時代草創期の加世田ー」
.....加世田市教育委員会 上東 克彦
- ・ 講座36 「赤松(みろく)窯跡発掘調査速報 一薩摩焼と龍門司焼ー」
.....始良郡加治木町教育委員会 関 一之

最近話題になった遺跡ということで、上東氏と関氏に講演していただきました。マスコミでも話題になった遺跡ということで、会員も熱心に聞き入っていました。

次回は4月25日(土)です!!

平成9年度におこなった主な発掘調査



詳しい情報については、
センターがおこなった調査は当センターへ、
センターが支援した調査は当該市町村へお問い合わせください。

埋文センターが支援した市町村関係発掘調査

遺跡名	所在地	調査期間	時代
寺之門	西之表市	6月終了	縄文
長縁	蒲生町	5月終了	中世
新牧外	南種子町	6月終了	縄文
向得原	吉田町	6月終了	縄文
西栗須	財部町	6月終了	縄文・中世
出水貝塚	出水市	7月終了	縄文・中世
下柵迫Ⅱ	高尾野町	6月終了	縄文・弥生
道下段			
新城	高尾野町	6月終了	中世
鶴ヶ岡城跡	東郷町	8月終了	中世
丸岡	有明町	8月終了	縄文・古墳
志良辺堂	知名町	8月終了	中世
錆河外	牧園町	9月終了	縄文・古代
上平	南種子町	9月終了	縄文
立切外	中種子町	11月終了	旧石器・縄文
大中原	根占町	1月終了	縄文
カムイヤキ	伊仙町	9月終了	中世
横峯	南種子町	11月終了	旧石器・縄文
ウギヤウ	龍郷町	10月終了	——
下原3・4	天城町	11月終了	縄文
坊ヤ田	和泊町	10月終了	——
川ノ上	喜界町	10月終了	中世
宮田ヶ岡瓦窯跡	始良町	12月終了	奈良・平安
黒葛外	有明町	11月終了	縄文
大久保	横川町	11月終了	——
小市原	樋脇町	12月終了	縄文
中尾外	吾平町	12月終了	古墳
下六反田	日吉町	12月終了	——
宮之脇A外	東郷町	12月終了	縄文～古墳
犬木屋外	薩摩町	12月終了	古墳・中世
下原C	樋脇町	12月終了	旧石器・縄文
屋形尾	郡山町	12月終了	平安
串木野城	串木野市	12月終了	中世
草水原	溝辺町	2月終了	縄文・古代
横間地下式様穴	高山町	1月終了	古墳
藤平小田	南種子町	2月終了	縄文

埋文センターがおこなった発掘調査

遺跡名	所在地	調査期間	時代
1 市ノ原	東市来町	4/21～3/31	旧石器～近世
2 向柵城跡	東市来町	4/21～3/31	旧石器・縄文・古墳 平安 中世・江戸
3 A 今里	東市来町	11月終了	旧石器・縄文・古墳
B 大田城跡	伊集院町	12/1～3/31	旧石器・縄文
4 上山路山	伊集院町	5/13～8/31 12/1～3/31	旧石器・縄文・古墳
5 永迫平	伊集院町	4/21～3/31	縄文・古墳・中世・近世
6 小倉畑	始良町	11月終了	古墳・平安
7 根木原	鹿屋市	10/6～3/31	縄文・古墳
8 永磯 城ヶ尾	福山町 "	4/21～3/31	旧石器・縄文・中世 旧石器・縄文・古墳
9 供養之元 前原・和田 (中断)	福山町 (中断)	4/21～3/31	旧石器・縄文 "
10 桐木	末吉町	4/21～3/31	旧石器・縄文・中世
11 A 大原野	川内市	10月終了	旧石器・縄文
B 前畑	"	11/1～3/31	縄文
12 中尾	吾平町	7月終了	縄文・古墳
13 鍋尾	喜入町	12月終了	旧石器・縄文・古墳
14 三角山	中種子町	5月終了	縄文
15 上野原	国分市	5月終了	縄文
16 浜町	鹿児島市	6月終了	近世
17 東免	隼人町	6/9～9/30 12/15～3/20	旧石器・縄文・古墳・古代
18 農業センター遺跡群 吹上町	金峰町 吹上町	6/23～3/31	全時代
19 持鉢松	金峰町	2月終了	中世
20 二子塚	大崎町	9月終了	縄文・古墳・古代
21 仁田尾	松元町	10月終了	旧石器・縄文
22 瀬戸頭A・B・C	伊集院町	2月終了	旧石器・縄文
23 朽堀	松元町	11月終了	旧石器・縄文
24 勝毛	大口市	3月終了	縄文

※ 番号は上の地図の番号と一致

埋文だより 第16号

発行日：平成10年3月31日

編集・発行

鹿児島県立埋蔵文化財センター

〒899-5652

鹿児島県始良郡始良町平松6252

TEL 0995-65-8787